

研究に関するお知らせ

(研究課題名: 当院における門脈ガス血症の検討)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院消化器・肝臓内科では、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

門脈ガス血症とは、腸管壊死など重篤な消化器疾患に際してまれにみられる、門脈内にガスの存在を認める病態です。門脈ガス血症は過去の報告・検討では予後不良の徴候として高い死亡率が報告され、従来は緊急手術の適応とされてきました。しかし、近年ではCT等の画像診断技術の向上により早期軽症例の診断に至った割合も増加してきており、抗生剤投与等の保存的加療で軽快した症例の報告も増加してきています。一方、その治療方針の決定に関する臨床的特徴は十分に解明されていないのが現状です。そこで本研究では、当院の診療記録を調査することにより、門脈ガス血症の特徴を明らかにし、より適切な治療をご提供するための根拠を確立することを目指します。

■研究期間

理事長承認日～2024年3月

■研究の対象となる方

2011年4月～2021年1月の期間に当院で腹部CT検査を受けた方のうち、画像所見で門脈ガス血症のみられた方

■研究に用いる試料・情報の種類

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報(CT画像所見、症状、転帰等)・アンケート等を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■利益相反について

本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡することができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究責任者:

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院 消化器内科診療科長 矢田智之

■お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院

千葉県市川市国府台 1-7-1

047-372-3501

研究責任者 国府台病院 消化器・肝臓内科 矢田智之

研究協力者 国府台病院 消化器・肝臓内科 小高慶太

■掲示場所・交付場所

消化器・肝臓内科 診察室および外来窓口